

漁海況月報

令和4年8月29日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況

○ 黒潮流路

8月25日の人工衛星画像によると、黒潮は都井岬から東へ向かい、遠州灘沖の北緯30度付近から北上し、遠州灘に著しく接近した後、八丈島付近へ流れている。現在の流路は、流軸が御前崎沖正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっている。

○ 渥美外海の状況

現在、黒潮が遠州灘に接岸し、渥美外海では黒潮本流の影響が強まっている。伊勢湾湾口部は周囲よりも水温が低下している。

○ 予想

現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬ー西之表）の潮位差は増加傾向にあるものの依然低い水準で推移しており、大蛇行離岸流路が継続すると推測される。

(参考：潮位データを用いた黒潮モニタリング；<https://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/time2.html>)

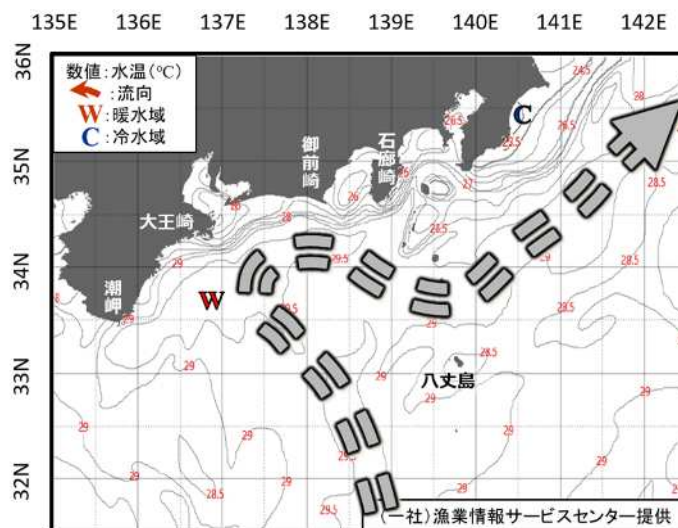


図1 海況の現況[2022年8月25日]

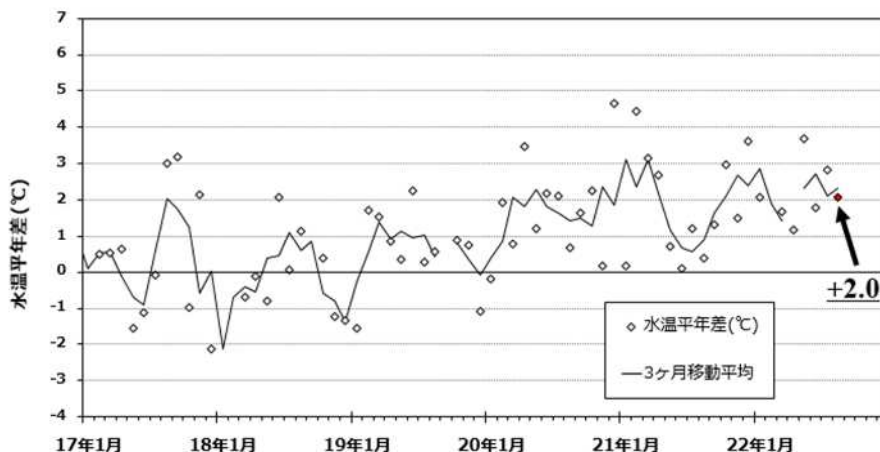


図2 沖合域の水温(A4点、A12点、A19点の200mの平均)

2 イワシ類

(1) シラス

6月14日以降、漁場が形成されず、10ヶ統以上の7月の出漁はなかった（昨年は10日）が、8月は、北西向きの潮流が発達した18～25日に6日出漁できる程の漁場が外海に形成された。

8月26日現在、出漁は7日（昨年は2日）、月計漁獲量は404トンとなっている。これは、昨年（48トン）を上回り、平年（617トン）を下回っている（表5）。

1ヶ統の1日あたり漁獲量（8月1日を除く）は、16～65カゴで推移している（図3）。

全長組成（8月23日）は、2.1cm以下の個体が24%を占め、新規加入が確認できた（図4）。

8月のカタクチイワシの卵・仔魚採集数は、伊勢湾では、卵採集数（2,575個）で、平年（1,426個）を上回り、仔魚（827尾）は、平年（1,011尾）を下回ったが、必要水準は満たしていると思われる。いずれも湾中部で多く見られた。

渥美外海では、卵採集数（351個）は、平年（37個）を大きく上回り、仔魚（298尾）も、平年（119尾）を上回った。いずれも沖側より岸側に多く分布していた（図5、6、表3、4）。

伊勢湾内及び外海のカタクチイワシ卵・仔魚は、8月も引き続き、一定水準確認されており、環境が整えば漁場が形成される状況となっている。

昨年同時期は、内湾の産卵状態が高水準に保たれた状態で、降水量が減少し、さらに、黒潮接近に伴い湾口部に強い潮境が形成されたことで、卵・仔魚が外海へ流出しにくくなり、9月以降伊勢湾内で漁場が形成されたと推察される。今年も同様な海況になれば今後内湾での漁場形成が期待できる。

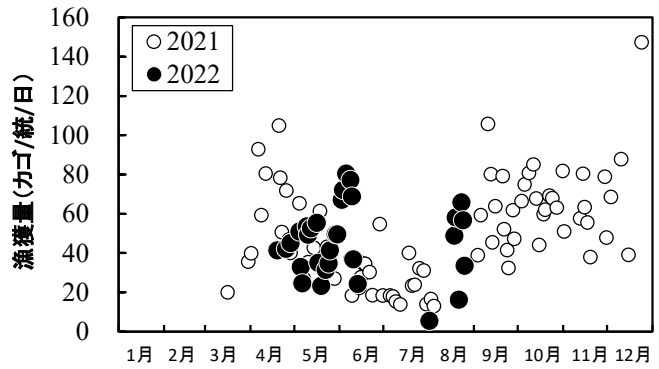


図3 シラス操業船のCPUE

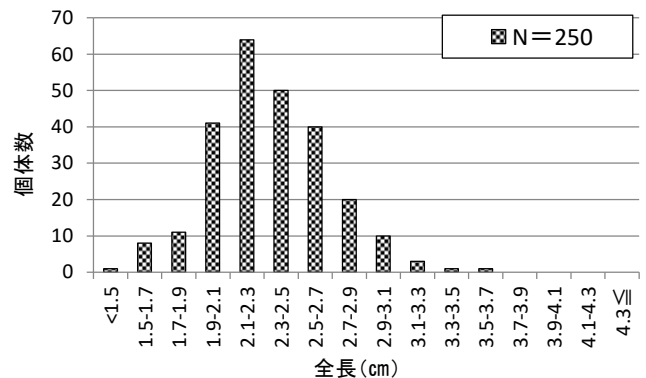


図4 8月23日の体長組成

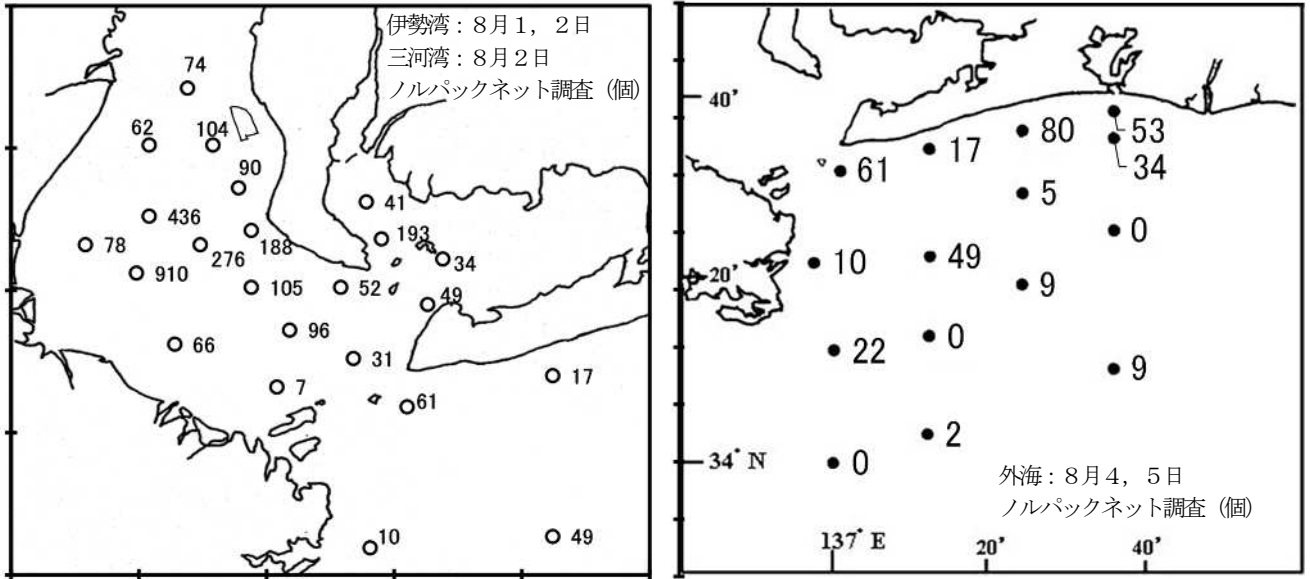


図5 カタクチイワシ卵の採集結果 (左図：内湾、右図：外海)

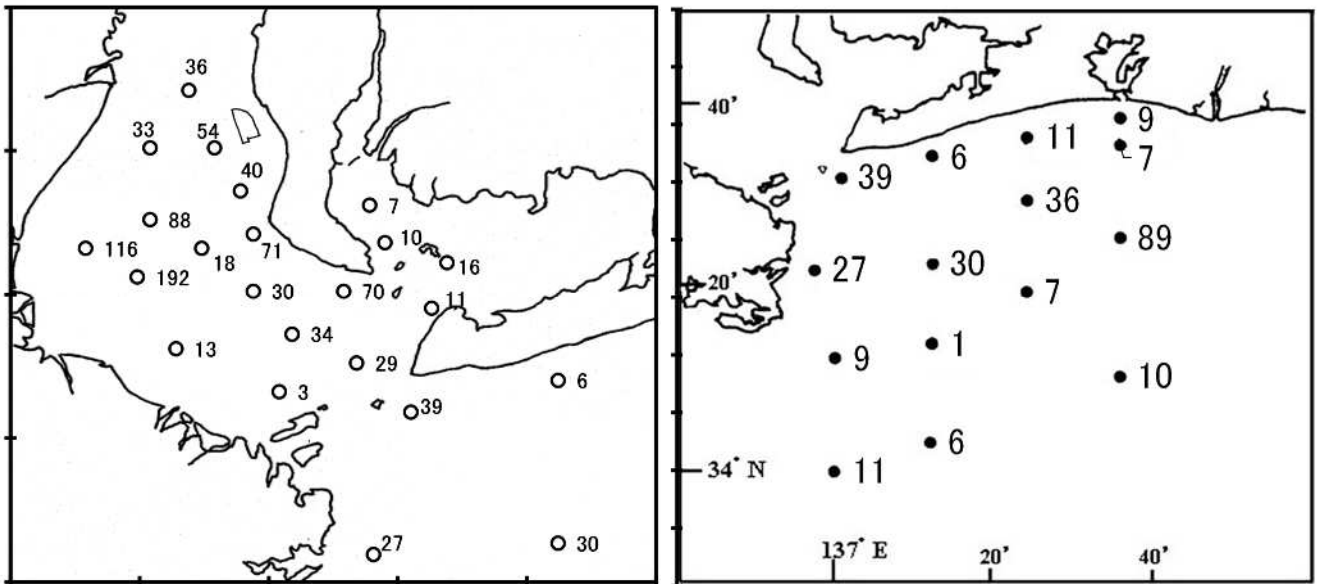


図6 カタクチイワシ仔魚の採集結果 (左図：内湾、右図：外海)

(2) マイワシ・カタクチイワシ

ぱっち網は、7月20日から伊勢湾で操業を始めたが、魚影が少なく、本格操業は7月29日以降となった。7月の操業は2日（昨年12日）で月計漁獲量は、マイワシ2トン（昨年6,128トン）、カタクチイワシ469トン（同691トン）であった（表6、7）。

8月も引き続き伊勢湾（空港周辺～野間沖）で3回/週程度の操業を行い、カタクチイワシを主体に漁獲した（1ヶ統の1日あたり漁獲量6～17トン）（図8）。

魚体サイズ増大を図るため、自主禁漁していた三河湾を8月22日に解禁し、佐久島東～福江の海域でマイワシを主体に漁獲している（1ヶ統の1日あたり漁獲量19～36トン）（図7）。

月計漁獲量（8月26日時点）は、マイワシ（1,540トン）は昨年（4,125トン）を大きく下回り、カタクチイワシ（1,640トン）は昨年（1,062トン）を上回った（表6、7）。

マイワシの大きさは、例年同様、“三河湾 > 伊勢湾”であった（表1）。三河湾での操業開始を遅らせたこと、マシラス来遊量減少から今年のマイワシ来遊尾数が少ないと予測されていることから、今年のマイワシの大きさは昨年よりも大きく、2019年、2020年並みとなっていると考えられる（図9）。

マイワシの肥満度は、この時期の値としては過去最高となった。これは資源尾数が少ないためと推察される（図10）。

カタクチイワシは、8月1日に小型群の加入が確認され、19日では8.0～8.5 cmが主体となっていた（表2）。成熟度も一定水準あり、産卵が継続されていると考えられる。

マイワシは、三河湾の自主禁漁の効果が現れ、漁獲サイズの大型化が図られていると思われる。サイズが大きい群の中でも小型個体が見られるため、今後はそれらが漁獲対象となると予想される。近年の漁獲状況から、15 cm以上の個体は外海へ出ていくことが予想されるため、大型個体は積極的に漁獲していくことが資源の有効利用としては望ましいと思われる。伊勢湾のマイワシも注視したい。

カタクチイワシは、マイワシが減ってきた後の重要な漁獲物となる。内湾シラスが少ないため、未成魚を保護して、十分大きくしてから漁獲が望まれる。

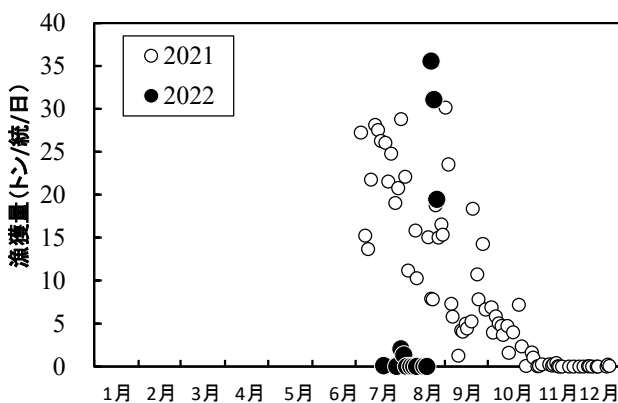


図7 マイワシの CPUE
<速報値>

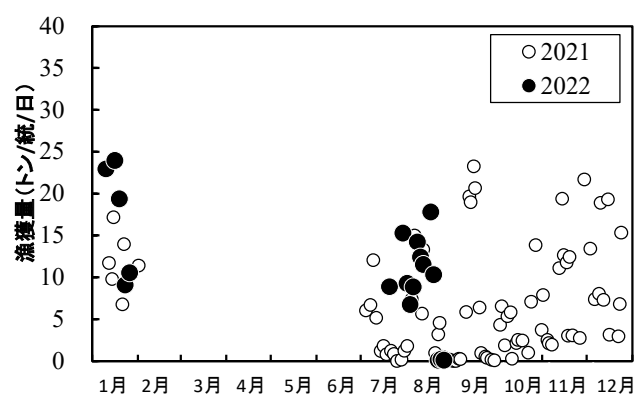


図8 カタクチイワシの CPUE
<速報値>

表2 カタクチイワシ (伊勢湾) の
体長組成の推移

表1 マイワシの体長組成の推移

体長範囲 (cm)	伊勢湾		三河湾 8/24
	7/20	8/1	
~8.0		1	
8.0~8.5			
8.5~9.0			
9.0~9.5	2	3	
9.5~10.0	11	8	
10.0~10.5	57	3	
10.5~11.0	93	49	
11.0~11.5	35	106	
11.5~12.0	2	19	
12.0~12.5			4
12.5~13.0			27
13.0~13.5			60
13.5~14.0			65
14.0~14.5			40
14.5~15.0			4
合計	200	189	200

体長範囲 (cm)	伊勢湾				
	7/20	7/29	8/1	8/12	8/19
~4					
4.0~4.5			4		
4.5~5.0			10		
5.0~5.5			8		
5.5~6.0		3	9	2	
6.0~6.5		4	1	9	
6.5~7.0		5	1	10	8
7.0~7.5		8		30	30
7.5~8.0	3	20	2	41	49
8.0~8.5	68	101	35	43	52
8.5~9.0	99	52	91	41	51
9.0~9.5	26	7	34	22	9
9.5~10.0	4		5	1	1
10.0~10.5				1	
10.5~11.0					
11.0~11.5					
合計	200	200	200	200	200

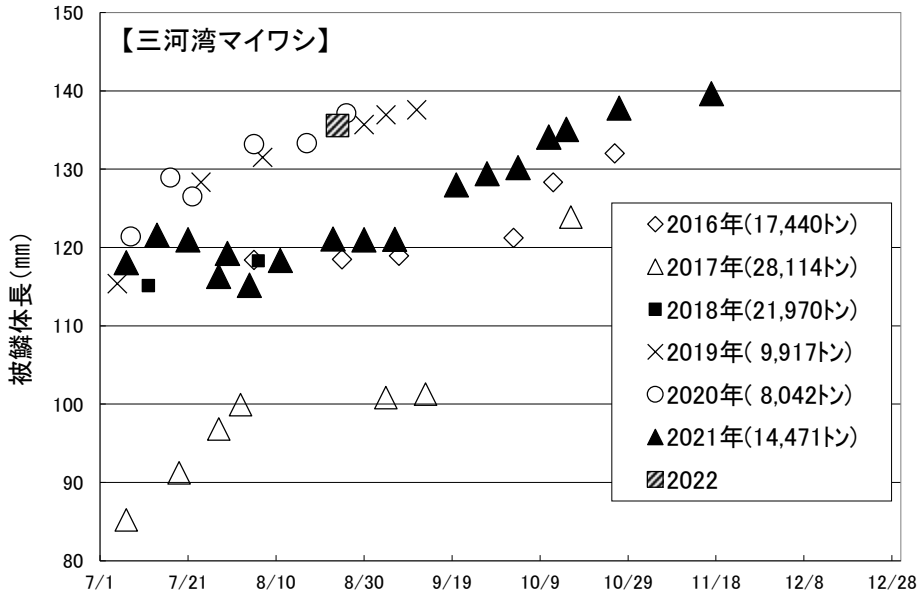


図9 マイワシ (三河湾) の平均体長の推移

※凡例の()内
はその年の年間
漁獲量を示す。

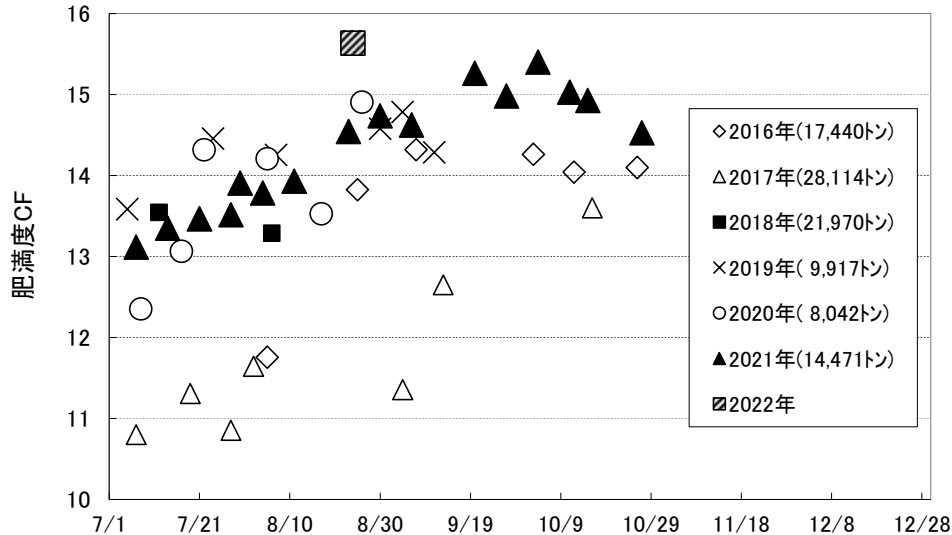


図10 マイワシ (三河湾) の平均肥満度の推移

表3 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数(15点合計) (単位:個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0	0	207
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0	欠測	0	0	0	497
2019	0	0	62	39	57	29	97	58	54	0	0	0	396
2020	0	0	0	1	0	116	30	89	11	13	3	0	263
2021	0	0	24	46	25	186	88	25	17	0	0	0	411
2022	0	欠測	23	1	203	212	247	351					1,037
10年平均	0	0	122	177	218	153	106	56	43	22	1	1	883

表4 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数(15点合計) (単位:個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	-	-	-	1	191	160	30	1,291	61	132	768	-	2,634
2016	-	-	-	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	-	5,309
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360	70	欠測	41	117	-	1,091
2019	-	-	-	0	70	2,518	2,593	627	52	37	118	-	6,015
2020	-	-	-	506	6,126	4,561	1,442	4,698	735	211	6	-	18,285
2021	-	-	-	2,985	1,227	2,258	1,765	2,607	746	212	25	-	11,825
2022	-	-	-	559	1,624	756	2,522	2,575					8,036
10年平均	-	-	-	351	1,044	1,338	1,460	1,426	345	121	144	-	6,194

表5 愛知県シラス類漁獲量 ※8月26日現在の速報値。(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	134	1,683	1,871	636	7,127
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	379	553	797	295	660	5,730
2019	0	7	389	676	1,472	1,349	884	1,119	1,514	45	9	302	7,766
2020	0	10	219	428	658	1,629	590	1,933	131	493	148	492	6,731
2021	0	2	101	1,295	631	676	392	48	1,098	1,397	743	317	6,700
2022	0	1	3	253	1,150	831	9	404					2,651
10年平均	3	2	91	786	1,581	689	426	617	622	845	648	414	6,725

表6 愛知県カタクチイワシ漁獲量 ※8月26日現在の速報値。(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	231	226	0	131	0	286	4,332	2,952	3,191	800	1,262	361	13,772
2016	85	0	14	0	851	5,944	6,352	1,705	2,481	351	504	1,146	19,434
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,045
2018	0.3	7	0	12	33	2,795	1,654	945	1,294	149	13	40	6,943
2019	172	38	32	2	0	1,339	4,128	1,692	1,432	2,564	803	515	12,717
2020	4	35	27	0	0	0	2,698	2,115	1,620	2,924	1,920	2,117	13,462
2021	302	48	0	0	0	0	691	1,062	719	766	1,674	1,593	6,853
2022	505	0	0	0	0	0	469	1,640					2,614
10年平均	130	37	14	108	362	2,074	3,452	2,502	1,939	1,207	1,239	942	14,006

表7 愛知県マイワシ漁獲量 ※8月26日現在の速報値。(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	2,408	2,684	1,413	574	10,348
2016	74	0	0	0	44	551	1,255	5,255	4,216	3,994	1,379	672	17,440
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	61	0	0	0	0	2,605	5,555	4,999	4,701	2,944	1,103	2	21,970
2019	210	40	4	0	0	1,311	2,634	3,886	1,417	152	256	7	9,917
2020	0	0	0	0	0	0	3,502	1,995	2,351	174	15	5	8,042
2021	0	0	0	0	0	0	6,128	4,125	3,476	703	35	5	14,471
2022	0	0	0	0	0	0	2	1,540					1,542
10年平均	42	12	0	0	23	604	2,677	3,014	2,491	1,677	793	333	11,665